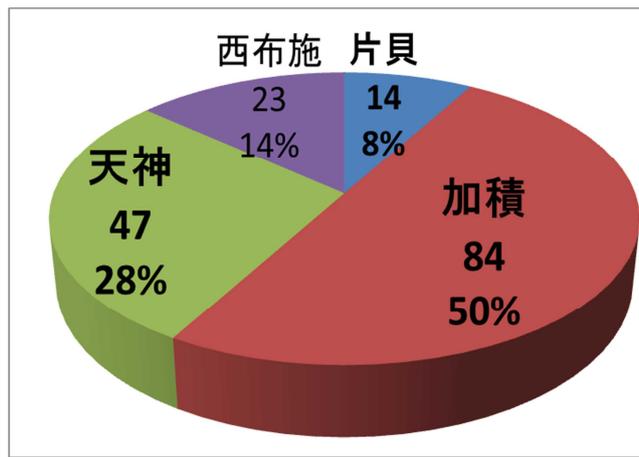


魚津市立片貝・吉島・西布施小学校統合校校名選定概要

1. 募集結果概要

募集期間	平成26年11月1日から11月30日まで
応募件数	168件
募集方法	片貝、加積、天神、西布施地区へ応募用紙を全世帯配付及び回覧板にて周知 片貝小、吉島小、西布施小の児童を通じて保護者へ配付、児童センターに配置 片貝、加積、天神、西布施の各地区公民館及び地域内6保育園に応募用紙を配置

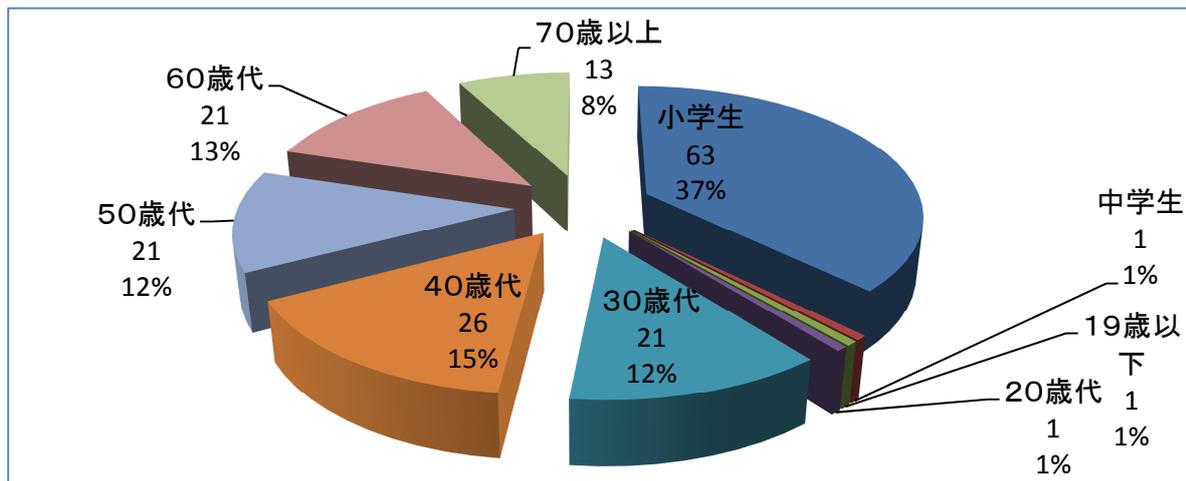
地区別応募状況



地区別の応募状況は、加積地区が84件と最も多く、半数を占めた。なお、そのうち42件は小学生（区域外通学の2名含む。）の応募であった。

次いで、天神地区の47件（28%）、西布施地区の23件（14%）、片貝地区の14件（8%）。

年代別応募状況



年代別では、小学生が最も多く63件（37%）となっており、次いで40歳代の26件（15%）となっている。40歳代が多いのは、児童の保護者の関心が高かったためと思われる。

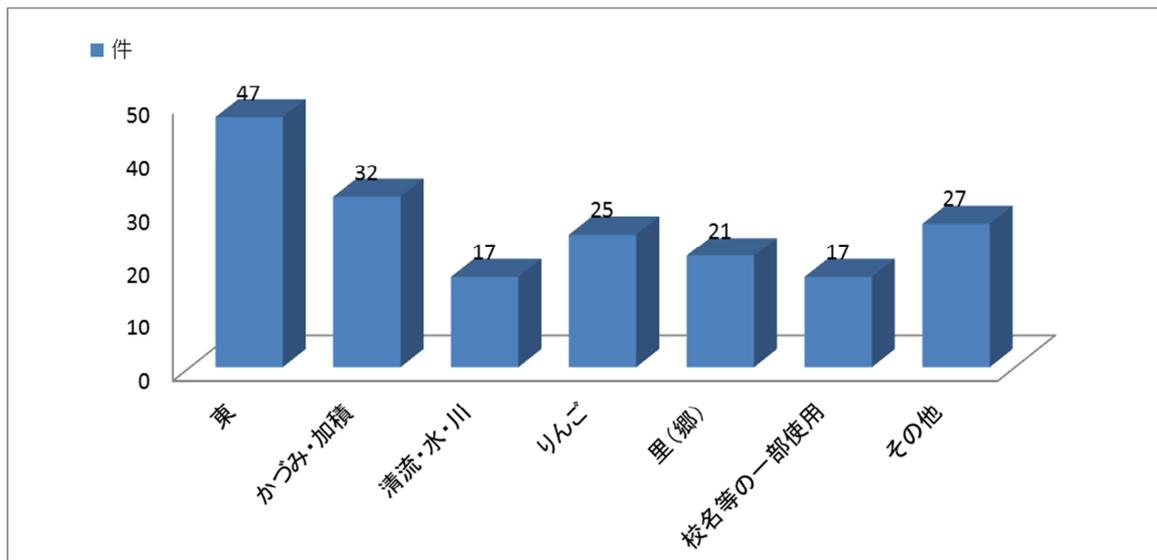
そのほかの年代では30歳代、50歳代、60歳代は、それぞれ21件（12.5%）と同数となっており、70歳以上からも13件（8%）の応募があった。

中学生、19歳以下、20歳代からの応募は各1件のみであった。

キーワード別の分類

一番多かったのは「東」で、魚津東部、東部、東部第一、東などの校名で47件あった。次いで、「かづみ・加積」で、加積、かづみ、かづみ野、かづみの里など32件であった。「りんご」については、25件中16件が小学生からの応募であった。また、豊かな自然や特産の果樹等をイメージして「里（郷）」を使用した校名が21件、片貝川、布施川等の清流をイメージした「清流・水・川」関係が17件であった。現在の「学校名や地区名の一部等を使用」した校名案も17件あった。これらの分類に属さない「その他」は27件である。

なお、複数の分類にカウントした校名案があるため、合計は応募件数に一致しない。



2. 公募以降の選定、決定の流れ

時 期	選 定 方 法	候 補 名	備 考
第2回統合準備会 (H26.12.12)	募集結果を元に各委員の投票により候補名を選定する。	「清流」 「みのりの里」 「かづみ野」	各委員には地区の意見聴取を依頼
「準備会だより（第2号）」発行（H26.12.19）し、3案を周知			
第3回統合準備会 (H27.1.14)	三つの候補名に対して、委員が投票。	「清流」を選定	「清流」10票 「かづみ野」3票 「みのりの里」2票
「準備会だより（第3号）」発行（H27.1.21）し、選定校名を周知			
魚津市教育委員会議（H27.1.22）にて、統合校名を「清流小学校」に決定			
平成27年3月市議会定例会にて、「魚津市学校設置条例の一部を改正する条例」が可決			